

京 都 を 女 子 プ ロ 野 球 の 聖 地 に

～地域密着型プロスポーツ振興（京都府京都市）～

【京都財務事務所】

1. はじめに

軽やかな躍動感と一球に懸ける情熱にあふれた女子のプロ野球選手たち 昨年 4 月、全国で唯一となる女子プロ野球リーグが、京都市の西京極にあるわかさスタジアム京都において、京都アストドリームスと兵庫スイングスマイリーズの、いずれも関西を本拠地とするチームが参加して開幕した。



2 季目の今季も参加チームは 2 チームのみだが、4 月から 10 月にかけて、年間 50 試合を行っており、観客動員数は延べ 8 万人、多いときには 5 千人を超える観客が集まった。京都では、隣接する競技場を本拠地とするプロサッカーチームの試合後に野球場に駆けつけ、ナイターゲームを「はしご」する地元ファンの声援も心強い。

2. 女子硬式野球の現状

日本の女子硬式野球のレベルは世界のトップクラスにあり、ベネズエラで行われた前回ワールドカップ（2010 年）では連覇を遂げた。しかし、競技環境は厳しい。国内の女子硬式野球の野球人口は約 600 人。女子硬式野球部がある高校は、全国で 7 校のみだ。小学生までは少年野球チームで白球を追っていた野球少女も、中学校、高校では、クラブがある学校がほとんどないことが壁となり、他のスポーツに転向してしまう。



しかし、そのような中での女子野球の頂点となるプロ野球リーグの誕生。トライアウトで合格した選手は硬式野球の経験者だけではなく、ソフトボールやテニスなどの出身者も含み、必ずしも純粹培養ではない才能が混ざり合うが、彼女たちはプロとしてのプレーを見せようと懸命に練習を積み、関係者はまず頂点を整備することで少女たちの夢の受け皿をつくり、裾野の拡大を期待する。

そして、京都府内では、昨年活動を開始している福知山市の高校に加え、来年には、京都市内の高校にも野球部が新設されることとなっている。女子プロ野球球団が中高生を対象にしたユースチームを立ち上げることも決まった。京都で少女たちが野球を続ける環境は、少しずつではあるが整備されつつある。

3. 京都市の地域密着型プロスポーツ振興

京都市は、「京都市市民スポーツ振興計画」（2011 年 3 月策定）で、スポーツの絆が生きるまちの実現に向けて、スポーツを「する」「みる」「支える」それぞれの観点から数値目標を設定した。「みるスポーツ」については、市内でプロスポーツやトップスポーツを 1 年で一度以上直接観戦した市民の割合を、現況の 24.4%から、10 年後には 30%以上に引き上げる。そしてそのための取組みとして、地域密着型プロスポーツの振興を打ち出している。



京都市には既にサッカーとバスケットボールのプロチームが拠点を置いていたが、女子プロ野球誕生の地はぜひ京都にしたいと受け入れに乗り出した。「軟式野球も京都が発祥の地。甲子園を沸かせる高校野球も源流は京都。新しいことはぜひ京都から始めて欲しい。」との地元野球界の声も後押しした。本拠地となる市営の西京極野球場へは、厳しい市財政の下、国の交付金と同球場のネーミングライツ導入によって得た資金で、球場の土の入れ替えや芝生の張替え、スタジアムの座席の交換のほか、トイレの改修や女性用パウダールームの設置など、選手、スタッフ、観客に優しい環境整備を図るなどの支援をした。また、「市民のチームとして認識してもらえるように」との考えの下、開幕後は、市民しんぶんや地下鉄の中吊りポスターでの試合の告知から、市の広報番組での特集などの広報活動にも協力。選手の写真を掲載し、入場チケットが割引となる市営地下鉄・バスカードは人気を集めた。



4．地域に根ざすための取組み

日本女子プロ野球機構は、リーグの理念の一つとして、「地域の人々との交流を深め、「絆」をはぐくみ、地域活性化に貢献する」ことを掲げ、京都アストドリームスも「地域に貢献していける球団」づくりを掲げる。



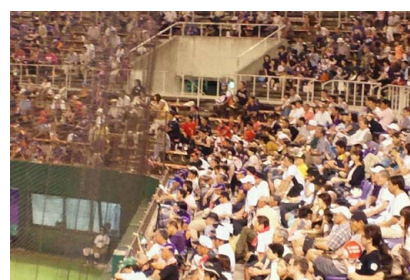
選手たちは、祇園祭の後の町の清掃や、京都市のイベント「京都ツデーウォーク」に参加し、市民とウォーキングで汗を流したほか、学校や少年野球チームなどに出向いて野球教室で熱心に指導を行うなど、地域に溶け込み、地域を盛り上げる活動にも取り組んでいる。球場は、地元の大学のプラスバンドチームやキッズチアスクールの発表の場ともなった。京都市は、「市民に身近にプロ選手を感じてもらえれば、応援しようと思ってもらえる。」といい、球団は、「プロとして京都に何かを残すという意識で、京都という街の活性化も新しい形でやっていければ。」という。

5．今後の課題

2季目のシーズンも終了し、知名度も徐々に上がってきているが、まだまだ、市民の手だけで支えられる状況ではなく、運営面では厳しい状態が続く。

しかし、京都は伝統的に新しいものを受け入れてきた街。京都市は、「新しいものを生み出していきながら、支え、新たな魅力を重ねて市民と共に盛り上げていきたい。」と話す。

リーグ開幕時は高校1年生で「夢ができた。」と目を輝かせた少女が、3年目のトライアウトに参加し、プロの階段を上る



段階まできており、女子プロ野球にかかわる人々の活動が実を結びつつある。そして、来年のシーズンでは、関西に新たに1球団が誕生する予定で、3チームとなる女子プロ野球リーグの3季目のシーズンに向けて、女子プロ野球と地域の活性化に向けた活動が続く。

みるスポーツの振興が、する・支える市民スポーツの振興へと広がり、市民の一体感の醸成と地域の活性化につながることを期待されている。

(京都市URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/>)